



発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 佐藤四三  
編集責任者 事務部長 船曳健次  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079-299-0052(直通)

TOPIC

## 授業参観を通して感じたこと



「在宅における生活支援」の授業で、授業参観が行われました。

当日、緊張もありましたが、母に対して、笑顔で時折会話もしながら、自然にハンドケアや足浴といった技術を実施することができました。

参観を通して、親は子どもがどんな風に学び、友達と接し、学校生活を送っているのか心配しているのだなと感じました。時に厳しい言葉に対し、うるさく感じる時もありますが、日々の感謝とともに、夢に向かって頑張っていることを伝えていこうと思いました。

(クラスII)

### 行事予定(平成27年2月～平成27年5月)

**2月** 16日(月)～ クラスII 領域別実習開始  
22日(日) 第104回看護師国家試験

**3月** 4日(水) 卒業を祝う会  
6日(金) クラスIII 卒業式  
20日(金)～4月3日(金) 春季休業  
25日(水) 国家試験合格発表

**4月** 7日(火) 入学式  
10日(金) 新入生歓迎会  
4月～6月 クラスI 基礎看護学実習Ⅰ  
29日(水)～5月6日(水) 保健週間

**5月** 12日(火) ナイチンゲール祭  
16日(土) 病院フェスタ



### 姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

#### 【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。



昨年、私たちが先輩方に戴帽を祝っていただき、とても思い出に残る会だったことを鮮明に覚えています。そして今年は私たちが企画・運営することとなり、どうしたら戴帽生に喜んでもらえるか悩みました。しかし、戴帽を祝う会のメンバーと先生方の助けを借りながら、共に考え、無事に戴帽を祝う会を開催できたことはいい経験となりました。

これで学生全員がナースキャップを被って学校生活を送っています。全員で夢に向かって日々精進していこうと思いました。

(クラスII)

戴帽を祝う会では講演会も開催しています。今回は「特定非営利活動法人兵庫盲ろう者友の会」理事長 今川裕子さんをお招きし、盲ろう者と援助者が協力しながら生活する中での苦労や体験を多く聞かせて頂きました。さまざまな人が希望を持って生活することができるよう関わっていきたいと思いました。



### 誓いの言葉

私たちは、国際的かつ歴史ある赤十字の看護学生としての誇りを胸に、創設以来受け継がれてきた、「人道」を基本とする赤十字の精神に違わぬ看護師となることを宣言いたします。

私たちは看護師になるという同じ目標を胸に、今日の戴帽の日を迎ました。私たちは確かな知識と技術を併せ持った、質の高い言葉を提供する看護師となることを目標に、日々の学習と実習に励んで参ります。

そして将来、あらゆる状況下において人々の苦しみを和らげ、その生命と健康を守り、人々の心に寄り添っていける看護師となることを誓います。

(クラスI)



今回の戴帽式では、誓いの言葉を宣誓するという重要な役割を務めさせていただきました。厳かな雰囲気の中、半年間ともに勉強してきた仲間とナースキャップを戴くことによって、仲間意識やこれから人の命と関わっていくことへの責任感が強まりました。  
(クラスⅠ)

戴帽式では、いつも私を支えてくれる家族やクラスのみんなやいつも優しく教えてくれる先輩方、普段は厳しく指導していただいている先生方の温かさに触れ、嬉しさでいっぱいになりました。その方々の気持ちに応えるためにも、116回生のみんなで自分の理想とする看護師になることが私の目標となりました。これからも周りの人への感謝を忘れずに日々の勉学に励みたいです。  
(クラスⅠ)



## 戴帽式 喜びの声

平成26年  
10月24日（金）

戴帽式では、学生一人一人がナースキャップを授かりました。ナースキャップをいただいて、これからもっとたくさん勉強や技術を習得して看護師になっていくという現実味が湧いてきました。これから更に気持ちを引き締め今後の授業や実習などに取り組んでいきたいと思います。(クラスⅠ)



戴帽式の前日は、現実味がなく、緊張もしていなかったのですが、当日になつてみると急に緊張が高まりました。それとともに、看護師に近づけた気がしました。先輩方が祝ってくれたことも忘れない思い出です。  
(クラスⅠ)



## 第12回 関西看護学生看護研究大会

主催：京都府・大阪府・兵庫県・奈良県、(公社)府県看護協会、(公社)大阪府看護協会、(公社)兵庫県看護協会、(公社)奈良県看護協会

平成26年10月22日（水）

テーマ：統合失調症患者と信頼関係を築く関わり－患者の意志やペースを尊重して－



精神看護学実習での自分の行った看護を発表しました。患者さんとの関わりを振り返り、他校の学生と活発な意見交流することで、学びを深めることができました。このような貴重な機会をいただき、ご指導してくださった先生方、協力してくれたクラスメートに感謝の気持ちでいっぱいです。  
(クラスⅢ)



関西圏の看護学生が一同に集まり、代表の人が看護実践を研究発表される大会に私たち2年生は聴講に行きました。看護学生だからこそ感じる疑問であったり、感想があつたり、同じ道を目指す仲間と意見交換できて充実した大会でした。宮子あづさ先生の講演もあり、事例を通して学び成長していくことが大事だと思いました。また今回、私は開会宣言をさせていただきました。大勢の前で話すことにすごく緊張しましたが、貴重な経験になりました。  
(クラスⅡ)

# 冬休みの思い出



お正月は湊川神社に初詣に行つたあと、親戚一同集まっておせちを食べるのが、我が家の大決まりになっています。今年は姪が生まれ新しい家族も増えたので、いつも以上に賑やかなお正月になりました。  
(クラス I)

クラスメイトとディズニーランドとディズニーシーへ行つきました。パーク内の食べ物をたくさん食べ、とても幸せでした。パレードやショーは見ていると時間を忘れるくらいきれいでした。日頃の疲れや嫌なことを吹き飛ばしてくれた素敵な2日間でした。  
(クラス I)



来年は国家試験の勉強で忙しくなるので、今年が最後の楽しめる冬休み。久しぶりに中学・高校の友達と会うことで、みんなそれぞれ頑張っていることに気づかされると共に、なつかしい思い出話をして、有意義な冬休みになりました。  
(クラス II)



私はこの冬休み生田神社に参拝してきました。ここ数年私は年始ではなく年末に参拝しています。それは、年始にお願い事をするよりも年末にお札をしっかりと伝えたいからです(決して人混みが嫌なわけではありません)。今年も良い1年にして、年末には笑顔でお札に行ければと思います。  
(クラス II)



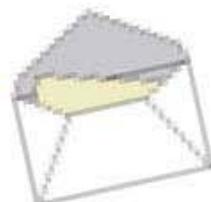
## 拝啓お元気ですか 一人暮らしをしている学生からのメッセージ



一人暮らしも3年目になり、少し慣れてきたと感じていました。でも、冬期休暇に家に戻ると毎食違うメニューのご飯を作ってくれました。当たり前のことだと思っていた事が、今ではすごくありがたいことだったんだなと改めて感じることができました。  
(クラス III)



私は3年生から1人暮らしをはじめ、最初は慣れないことや辛いことがたくさんありました。しかし、友達や家族にたくさん支えてもらい本当に周りの人達の有り難みを感じました。私は応援してくれる人がいることを忘れず感謝の気持ちで、今後も勉強や1人暮らしを頑張っていきたいと思います。  
(クラス III)



入学してから3年。辛いこともたくさんあったけど友達に恵まれて、多くの人に支えてもらってここまで頑張ることができました。後は目前に迫っている国試に向けてもうひと踏ん張り頑張ります。あと少し応援お願いします!  
(クラス III)

## 実習に向けて



6月に実習を終え、はや半年が経った今、この半年間のことを振り返ると、とても充実していたなと思います。3年生になると、ほとんど毎日が実習で考えるだけで、色んな意味でドキドキします。「今のうちにいっぱい遊んで、また看護の知識もいっぱい増やしておかないと」と思いながら生活してきました。実習までの残りの期間、息抜きもしつつ勉強に力を入れていいこうと思います。

(クラスII)

成人看護学実習Ⅰを終え、まだまだと思っていた実習がもうすぐ始まります。今までの講義で習ったことを活かし、また、わからなくなったら振り返り、臨床に出ることで知識を具体化していきたいと思います。(じけそうになることもあると思いますが、仲間と助け合い、共に学びを深めることができる実習にしたいと思います。

(クラスII)

毎回実習では、解剖生理の知識不足を感じるので、実習までにもう一度復習して正しい知識と技術を身につけて実習に挑みたいと思います。

(クラスII)



もうすぐ領域別実習が再開されますが、今までの学びを活かしながら、学びの多い充実した実習にしたいと思います。たまにはリフレッシュしながら、後悔のないよう一生懸命取り組み、みんなと協力しながら実習を頑張りたいです。

(クラスII)

これまでの実習では、あまりできていなかったので、解剖生理を復習し、病棟ごとに特徴ある疾患を勉強します。また、患者さんに不快感を与えることなく、患者さんにととのの良いケアを提供するための技術練習に励んでいきます。

(クラスII)



## 看護学生あるある

1

テスト前は、  
すっぴん登校



2

朝の光景。  
「誰か靴下持ってない~?」  
「あるよ~!」

3

結局、  
解剖生理学に戻る。

4

実習中は女子力低下。

5

実習着にボールペンの  
線がつき、消えない。

1年間カリオンを作成させて頂きました  
広報委員一同です。

クラス  
III



クラス  
II



クラス  
I

ありがとうございました。

## 第50回 日本赤十字社医学会総会

平成26年10月16日(木)17日(金)に熊本で開催された、第50回日本赤十字社医学会総会に「学校への理解を深めるために授業参観を実施して」をテーマにポスター発表をしました。今年度初めて、授業参観を実施した経緯や保護者アンケートの結果を伝えました。看護専門学校で、授業参観を実施している施設は少なく、興味を持って聞いて頂きました。看護学生や学校への理解が深まる機会になりました。(専任教師:松井 里美)



## 学校関係者評価会議



平成26年11月27日(木)、第1回学校関係者評価会議を開催しました。学校関係者評価とは、保護者、講師代表などの学校関係者により、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。今年度より、新たな委員として、地域住民代表、大学教授を追加しました。第1回目には主に学校運営方針の中間評価について、第2回目には自己評価の結果についての意見交換を行っています。教育活動の観察や意見交換等を通じて、多方面からの評価が可能となり、教育水準の向上を図ることを目的としています。

昨年この会議で提案された「参観日」が実現し、会議の成果を感じています。(副校长:柳めぐみ)

## 第31回 姫路赤十字看護専門学校同窓会

平成26年11月15日(土)、第31回姫路赤十字看護専門学校同窓会が姫路商工会議所で開催されました。4名のご来賓と同窓会名誉会員の高橋令子さまをお迎えし、同窓生132名の参加者がありました。活動報告や会計報告などの後、院内に残っている同窓生352名を代表して2つの病棟から看護実践報告が行われました。(副校长:柳めぐみ)



高橋様(一番右)と同級生(44回生)



## カリオン歴史シリーズ

### 「冷眼用コップ」

このガラス製品は何でしょう。背面に「海軍」の文字が入っています。これは、「冷眼用コップ」と呼ばれる洗眼器です。欧米では「アイバス(eyebath)」とも呼ばれ、古くはイギリスのビクトリア時代から使用されていたそうです。おそらくわが国では明治初期に輸入され、三十年代から四十年代頃より作られ始めたと思われます。また、方形のものは、中央のゴムを押すと水が上部から吹き出る仕組みになっています。

甲種看護教程附圖(日本赤十字社、大正7年発行)にも掲載されています。(副校长:柳めぐみ)

参考:<http://www.miho.or.jp/booth/html/artcon/00005460.htm>



## 講師紹介

医療法人 山伍会 播磨大塩病院 認知症看護認定看護師

谷 浩子

老年看護学「健康障害を持つ高齢者の看護」認知症の担当です。生活環境や周囲の人々の対応により幻覚妄想・不眠・不食などのBPSD(周辺症状)が出現した患者様に対して、認知症患者様を人として捉え生活を支援し、正しい知識をもち理解をすることが必要です。患者様や家族に対する看護や地域連携など幅広い認知症看護を専門職として興味を持って学んでもらいたいと期待しています。



姫路赤十字病院 血液内科部長

平松 靖史

「病態生理学-4」血液・造血器の担当です。酸素運搬・止血・凝固・感染防御(体当たりの白血球からミサイル攻撃できるリンパ球まで)とその働きはとっても不思議で魅力的、まるで魔法のようだ。しかも100年以上も持続する…。皆さんと一緒に働くのを楽しみにしつつ、日々体の中で頑張ってくれている血液さんのことを、わくわく、楽しく、さあ、一緒に勉強しよう!!



姫路赤十字病院 7階西病棟 看護師長 藤井 育枝

「セルフマネジメント」を担当しています。セルフケアマネジメントは、患者さんが生活者としてどのように病気と日常生活の折り合いをつけて、自分らしく生きていくかをテーマにしています。患者さんが持っている力を最大限引き出すために、患者さんと看護師がよいパートナーシップを発揮することが重要です。また、セルフケアマネジメントを学習することは、自分で育てにもつながります。これからも一緒に頑張りましょう。



## 病棟紹介 MFICU

MFICUとは、母体・胎児集中治療室(Maternal Fetal Intensive Care Unit)の略称でハイリスクの妊娠婦を対象に集中的に医療・看護を行う病棟です。当院は、中・西播磨の周産期の拠点病院として、24時間365日、ハイリスク妊娠婦の救急搬送を受け入れ治療を行っています。また、外来の妊婦健診時にも、助産師が毎回全員に個別指導を担当し、妊娠中からの継続ケアに取り組んでいます。さまざまなリスクを抱えながら、大切な赤ちゃんを育てるために入院し頑張って治療をうけておられるお母さんとその家族に安全で安心なケアが提供できるよう一緒に頑張りましょう。

(姫路赤十字病院 MFICU 師長：太田 加代)



MFICU  
分娩室



## 看護教員ラダー本校第1号!

本年度より看護教員ラダーが導入されました。3名がラダーレベルⅡを認定され、学校長より認定証が授与されました。



## 専任教員養成講習会

今回の教育実習では、清潔援助の講義と演習を行い、とても緊張しました。また、戴帽式にも参加し自分たちが看護師を目指したころを思い出すことができました。この貴重な経験を活かし教員として羽ばたきたいと思います。（平成26年度兵庫県看護教員養成講習生5名）



## ボランティア活動 頑張っています!



### 全国学生クリスマス献血キャンペーン

平成26年12月13日(土)  
於)イトーヨーカドー広畠店



### 世界エイズデー イベント in Himeji

平成26年12月20日(土)  
於)JR姫路駅中央地下通路



### 小児病棟訪問班 「クリスマス会」

平成26年12月15日(月)於)院内保育所  
平成26年12月16日(火)於)小児病棟

2015が始まり、元旦に降った雪に気持ちが引き締まりました。

学生は毎年、看護師国家試験に向けての学習が本格的になればなるほど、1年生の時に学んだ基礎の知識が、いかに大切であったかを思い知らされます。国家試験受験のためだけの学習に終わらず、学んだ知識を使って考えられるようになってほしいと願わざにはいられません。しかし口について出る言葉は“寸暇を惜しんでやりなさい”。

2015年春、どの学生も新たなスタートを切ることができるように、今できることをしっかりと頑張りましょう。

(専任教師：名村 かよみ)